

三重県人材確保対策推進方針（仮称）（中間案）に対するご意見と方針（最終案）での対応

No	区分	中間案に対するご意見	新たに方針（最終案）へ記載する内容	ご意見について現行の事業で対応中の取組、方針（中間案）に記載済の取組等の内容
1	県議会	・L字カーブへの対応として、女子生徒に対する教育の観点も加えてほしい。	<p>【取組の方向性】 P20</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員向けの講座を通じて、県教育委員会発行の人権学習指導資料に掲載している男女共同参画社会の実現や女性の人権に関する資料の活用促進を図ります。 <p>[官]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>小中学校では、社会科公民的分野や特別活動の学級活動において、男女間の平等や男女相互の理解と協力について学習を深めていきます。</u> [官] ・<u>高等学校では、公民科の授業「人間の尊厳と平等、個人の尊重」及び家庭科の授業「人の一生と家族、家庭及び福祉」の内容の中で、引き続き、男女が共同して社会に参画することの重要性を伝えていきます。</u> [官] ・<u>高等学校の進路指導では、性別に関わらず、均等な就職活動が行われるよう、引き続き、取組を進めていきます。</u> [官] 	
2	県議会 パブリックコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・職場での若者へのハラスメント対策についても取組を検討されたい。 ・カスハラよりも、パワーハラやセクハラの方が発生数が多く、優先的に対処すべきである。 	<p>【取組の方向性】 P22</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>パワーハラスメント、セクシャルハラスメントについて、労働相談等を通じて状況を把握し、適切な支援につなげていきます。</u> [官] 	
3	県議会	・リファラル採用（※社員の紹介による採用）、アルムナイ採用（※元社員の採用）や、外国人採用の先進事例を県内企業に水平展開してはどうか。	<p>【取組の方向性】 P37</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>県内企業に対するセミナーを通じた多様な採用手法の紹介などにより、県内企業の採用力向上を図ります。</u> [産官] 	
4	県議会	<ul style="list-style-type: none"> ・0～1歳児を預けるところがなく、働きたくても働けない人がいる。子どもの預け先確保に向けて、保育士確保の対策をしっかりと講じられたい。 ・待機児童が生じており働きたくても働けない状況があり、改善する必要があると考えるがどうか。 	<p>【取組の方向性】 P93～P94</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重県保育士・保育所支援センターにおいて、<u>潜在保育士や指定保育士養成施設の学生に対する同センターへの登録を促進するとともに、登録のあった潜在保育士等に対する相談対応や復職支援研修を実施するほか、就職あっせん等の働きかけを強化することで、同センターの人材バンクとしての機能を強化します。</u> 	
5	県議会	・適正な賃金の支払いに向け、公契約の単価を見直していくべきである。	<p>【取組の方向性】 P27</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>公共工事において適正な労務費の確保および行き渡りの確認を行うことで、建設労働者の処遇改善を促進します。</u> [官] 	

No	区分	中間案に対するご意見	新たに方針（最終案）へ記載する内容	ご意見について現行の事業で対応中の取組、方針（中間案）に記載済の取組等の内容
6	県議会 懇話会	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の育児参画が注目されがちだが、男性と女性で家事時間差があるため、育児だけでなく家事全般に着目した取組を検討されたい。 ・職場における女性の活躍と、男性の家庭における活躍は表裏一体であることに留意し、セットであるということを意識しながら推進していただきたい。 	<p>【取組の方向性】 P21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性の家事・育児参画に向けた機運醸成のため、<u>大学生等に対する出前講座や家事・育児のノウハウ習得に役立つ動画等を用いた啓発</u>を行います。 [官] 	
7	県議会	<ul style="list-style-type: none"> ・生成AIで失われる仕事もあると言われており、当該分野からの労働移動やリスクリングを検討していく必要がある。 	<p>【取組の方向性】 P27,P43（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学官金が連携して形成した「<u>リカレント教育プラットフォームみえ</u>」において、<u>企業等のニーズをふまえたプログラムを構築すること</u>などにより、リカレント教育やリスクリング等の取組を推進します。 [産学官] 	
8	県議会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域によって産業構造や事情が異なるため、地域に応じた対策を考える必要がある。 	<p><労働力不足等の現状> P7～P8</p> <p>県内の産業構造を地域別にみると、<u>北勢地域や伊賀地域では製造業が約半分を占める一方、伊勢志摩地域や東紀州地域は農林水産業の割合が県平均より高い</u>といった特徴があります。</p> <p>県内の産業別の女性割合をみると、<u>製造業を含む第2次産業においては、女性の就業者割合は約4分の1にとどまっており、女性が働きにくい状況が続いている</u>ことが読み取れます。</p> <p><u>農林水産業においては、作物により時期に違いはあるものの、収穫時期に人手が必要になるなど、年間労働時間において繁閑差が大きい課題</u>があります。</p> <p>このように、県内地域によって業種に偏りがあることから、当該地域の産業構造に応じて、<u>製造業においてはジェンダーギャップの解消に向けた取組が、農林水産業においては繁忙期の労働力確保に向けた取組</u>が必要です。</p>	

No	区分	中間案に対するご意見	新たに方針（最終案）へ記載する内容	ご意見について現行の事業で対応中の取組、方針（中間案）に記載済の取組等の内容
9	県議会	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに雇用する外国人労働者の住居として、公営住宅の提供を検討されたい。 		<p>〔以下のとおり対応中〕</p> <p>住宅に困窮している方や住宅確保要配慮者への対策として、<u>低所得者への県営住宅の提供や「セーフティネット住宅」の普及に取り組む</u>など、外国人の住まいの確保を支援しています。</p> <p><県営住宅における外国人の受入れ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての県営住宅において、<u>収入基準等の要件を満たす在留資格のある外国人を受入れ</u> ・県営住宅の<u>募集情報を外国語に翻訳して県ホームページに掲載</u> ・県営住宅の外国人入居者及び外国人の入居希望者からの<u>相談に対し、5言語の電話通訳で対応</u> <p><「セーフティネット住宅」の普及></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>外国人や障がい者など住宅の確保に配慮が必要な方の入居を拒まない民間賃貸住宅を「セーフティネット住宅」として登録・公開</u> ・「セーフティネット住宅」に関する冊子を外国語に翻訳して関係機関へ配布、その情報を県ホームページへ掲載
10	県議会懇話会	<ul style="list-style-type: none"> ・職業について子どもの頃から伝える機会が必要ではないか。 ・小学生、中学生の頃から三重県で働くことの意義を伝えていく必要がある。 	<p>【ファクト】、【課題】 P34～P36 郷土教育、キャリア教育に係るファクトや課題</p> <p>【取組の方向性】 P36</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の市町において実践校を指定し、<u>地域企業等と連携しながら、社会的課題等に対して協働的な学習を通じて解決方法を考える機会を設定</u>します。また、<u>地域で活躍する人々の魅力に触れ、郷土三重を担う人材を育成するとともに、郷土を愛する心を育成していく学習活動を推進</u>します。〔官〕 ・県内の高等学校において<u>高校卒業後に進学を希望する生徒も含め、県内企業で活躍する職業人から話を伺う機会や、企業を訪問する機会を拡充し、将来、Uターン就職も視野に入れた進路選択ができるよう</u>に取り組みます。〔官〕 	
11	県議会	<ul style="list-style-type: none"> ・スポットワークの施策についても記載いただきたい。 	<p>【取組の方向性】 P100</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繁忙期等における労働力の確保に向け、<u>スポットワークの活用に関するセミナーを開催するとともに、マッチングサイトの活用やスポットワーカーの受入環境整備を支援</u>します。 	
12	懇話会	<ul style="list-style-type: none"> ・男女の賃金格差の排除に向けて、賃金引上げを試みる企業に対する行政支援があつてしかるべきと考えている。 	<p>【取組の方向性】 P27</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営向上に向けた<u>生産性向上や業態転換の取組を行う県内企業を支援し、賃上げ原資の確保につなげて</u>いきます。 	
13	懇話会	<ul style="list-style-type: none"> ・公務員の非正規職員の待遇の見直しを行うことが必要である。 	<p>【取組の方向性】 P106</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤職員の<u>待遇については、引き続き、国の動向を注視しつつ、その方針をふまえ改善</u>に取り組みます。 	

No	区分	中間案に対するご意見	新たに方針（最終案）へ記載する内容	ご意見について現行の事業で対応中の取組、方針（中間案）に記載済の取組等の内容
14	懇話会	<ul style="list-style-type: none"> ・企業が一生懸命に取り組んでも「点」の取組となるため、例えば、採用、研修、外国人材への日本語教育については、産学官が連携して、「面」の取組となるような仕組みを作っていく必要がある。 		<p>〔以下のとおり対応中〕</p> <p>採用については、働きやすい職場環境づくりに取り組む企業を集めた<u>合同企業説明会等の開催</u>や、<u>就職支援協定締結大学と連携した学生と県内企業との交流会等の開催</u>、また、<u>国内外における高度外国人材と県内企業とのマッチング支援</u>などの取組を進めてまいります。</p> <p>研修については、<u>地域の企業グループが実施している合同研修会等の優良事例を他地域へ横展開</u>するなどの取組を進めてまいります。</p> <p>〔方針（中間案）に記載済〕</p> <p>外国人材への日本語教育については、<u>地域日本語教育コーディネーターによる企業への啓発や支援</u>のほか、<u>県内高等教育機関と連携した支援</u>などの取組を進めてまいります。</p>
15	懇話会	<ul style="list-style-type: none"> ・産学官が連携して、学生と企業を仲介するような、学生に安心してじっくりと企業を選んでもらえるような仕組みを作っていく必要がある。 		<p>〔以下のとおり対応中〕</p> <p><u>就職支援協定締結大学の学生と県内企業との交流会等を開催し、就職サイトからでは得づらい対面ならではの企業の生の情報を得る機会を創出</u>していきます。</p>
16	懇話会	<ul style="list-style-type: none"> ・企業のプロモーションについて、三重県においてシステムやフレーム、ガイドラインなどを作って、中小企業に広く紹介いただきたい。 		<p>〔以下のとおり対応中〕</p> <p>県内企業の魅力をより効果的に発信できるよう、<u>県内企業向け連続勉強会や企業向けセミナー等を通じて、若者に響く動画作成など情報発信手法にかかる支援</u>を行うとともに、<u>成果報告会等にて横展開を図る</u>ことで、より多くの企業が効果的な情報発信ができるように努めていきます。また、若者が知りたい県内企業情報や動画へのアクセスを可能とするため、<u>県内企業情報に加え、企業が作成した動画が閲覧できるよう県ホームページ機能の充実</u>を図ります。</p>
17	懇話会 パブリックコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・国においてもさまざまな事業を行っているため、県とうまく連携できればと考えている。 ・国の施策を上手に利用することも重要である。 	<p><基本的な考え方>P10</p> <p><u>本県の財源には限りがあることから、県の施策の執行にあたっては、国との連携に留意し、まずは国の施策・支援を最大限活用した上で、県として必要となる支援に取り組んでいきます。</u></p>	

No	区分	中間案に対するご意見	新たに方針（最終案）へ記載する内容	ご意見について現行の事業で対応中の取組、方針（中間案）に記載済の取組等の内容
18	パブリックコメント	<p>・「介護・福祉」の障がい福祉分野について丁寧に記述いただきたい。</p>	<p>【取組の方向性】 P90</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重県福祉人材センターにおいて、<u>無料職業紹介や求人・求職情報の発信等を行い人材の確保を進めるとともに、職場体験や就職フェア等の機会を通じて、障がい者支援のやりがいや魅力を発信します。</u> ・障がい福祉分野に携わる人材の資質向上のため、「三重県障がい福祉従事者人材育成ビジョン」に基づいた研修体系を構築し、<u>「初任者研修」や「現任研修」、「主任研修」等を実施することで、経験年数に応じた段階的な資質向上を図ります。</u> ・経験年数を積み重ねた人材の中から、<u>地域で人材育成を担える人材（主任相談支援専門員等）を養成することで、各圏域における支援体制の充実・強化を図ります。</u> ・小規模の事業所等を対象に、<u>施設経営や人材の確保・育成・定着等に関する専門的な助言・指導を行うアドバイザーを派遣するほか、研修講師を派遣して事業所内で研修が実施できるよう支援します。</u> ・<u>福祉・介護職員等処遇改善加算等について、未活用の事業者への取得や低い加算を取得している事業者へのより高い加算の取得を、さまざまな機会を通じて促していくことで、離職防止・定着促進を図ります。</u> ・<u>障害者支援施設等における介護業務の負担軽減や効果的な情報管理等につながるロボット等の導入やICT化を支援することで職場環境を改善し、職員の離職防止・定着促進を図ります。</u> 	